

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名		公表日				
放課後等デイサービス あい・すまいる		令和 7 年 2 月 25 日				
	チェック項目			工夫している点	課題や改善すべき点	
		はい	いいえ			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0	・定員を遵守している。活動スペースも充分にあるので適切だと感じる。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	8	0	・毎回の利用者数を把握して職員の配置を決めていて、充分確保されていると思う。	・どうしても送迎時は施設内児童に対して職員が手薄になってしまうこともあるため、送迎の工夫をしていく。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障がいの特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	0	・来所してからの動線は考えておりスムーズに身辺整理ができています。本日の流れも予定ボードを活用したり個々で伝える必要がある場合は個別に伝えることもある。 ・屋外出入口においてバリアフリー化していないため配慮、見守りをしている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0	・身体を動かしたい、ダンボール工作がしたいなど利用者の声に対応できるように幅広く活動提供ができていますと感じる。 ・子どもによって安心できる場所、居心地の良い場所が確保されている。 ・整理整頓に心掛けている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0	・落ち着ける部屋を設けている。また外出して気分転換したいなどの声も対応できるように支援をしている。 ・落ち着きたい時、体調の悪い時などに合わせて分けられる空間が確保されている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8	0	・個別支援計画など職員で手分けしてモニタリングなど行い、チームで行えている。日々の記録として個別記録ファイルに全職員で記入をしている。そのファイルには支援目標を提示し共有できている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	・意識している。今年度より避難訓練時に情報伝達訓練も行い、避難訓練実施を広められたと感じる。 ・保護者から評価表の提出をしていただき、迅速に改善に努めている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	・定例会を毎週木曜日で実施して、活動計画や日々の支援の課題を交流している。毎日、午後から出勤の職員が揃い次第、ミーティングも行っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	8	・第三者評価は行っていない。	・第三者評価は行っていないが、外部講師に来てもらい、支援の評価を行っており、よりよい支援につなげている。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	・定期的に言語聴覚士の外部講師によるケース検討会に参加している。また外部機関主催の研修にも毎年各職員が参加している。 ・参加したい研修に快く参加させていただいている。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	・毎月の予定表に毎回の活動を記載している。 ・ホームページに公表している。	・利用者数が確定しないと予定が組めないこともあり、施設外活動と称して伝えているので、決まった時点で素早く保護者に伝えられるようにしていく。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	0	・個別支援計画など職員で手分けしてモニタリングなど行い、チームで行えている。日々の記録も全職員で記入をしている。	・努めているが保護者のニーズが重視されることがやや強い。子どものニーズを丁寧に拾い上げていきたい。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	1	・モニタリング、保護者のアセスメントなどで特に留意する点などは報告をし合って情報共有をしている。それを受けて計画など立案するように心掛けている。 ・毎日の記録をもとに丁寧に検討している。	・一度に全職員が集まる会議は難しいため（シフト制のため）情報の共有を徹底していく。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	・日々の記録を記載する資料に計画書の複写も加えてあり、その計画からの反省・振り返りを意識して行っている。 ・確認されやすい場所に提示され、支援につながやすい。 ・支援計画を意識して関わっている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	0	・利用者ごとに日々の記録を計画、反省・振り返りを意識して行っている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0	・モニタリングから作成に努めている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0	・定例会など活用して先の予定を決めている。	・シフト制のため、定例会に欠席する職員もいるため、情報の共有をしっかり行っていく。

× 援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	・定例会など活用して前回の予定表など見返しながら先の予定を決めている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	・集団活動を計画していても個々の情緒の状態を見て個別活動に変更するなど柔軟に支援を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	・ミーティングを行い、その日の活動の準備など進めている。	・春、夏、冬の学校の長期休暇の期間には打ち合わせのための時間が十分に取れていないことがあるが、短い時間の中で、優先順位をつくり確認していく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	1	・支援記録を記入して、ヒヤリハットや事故報告があれば情報共有をしている。 ・退社時間が異なるためその日のうちというわけではないが共有ノートの活用、翌日のミーティング、職員間の伝達等で共有できている。	・職員の退社時間が異なるため全員での対面による振り返りや打ち合わせはできていないことがあるが、大事なことは、書面で確認したり、次の日にミーティング内で再度確認し、漏れの無いように行っていく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	・連絡帳の確認、個人支援記録の記入を行い、ヒヤリハットや事故報告があれば情報共有をしている。 ・複数の職員からの目線で丁寧に記録している。	
	23	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	・定期的に行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8	0	・利用者からのやりたい活動から結び付けて活動提供をしている。また偏りがないように様々な方面から支援をしている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	0	・自己選択の場面を意識的に作るようにしている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0	・職員が担当を持ち、スムーズな参画に努めている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	・送迎時に日々の様子を交流して情報共有している。またサービス担当者会議に参加して支援方法のすり合わせを行った。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	1	・学校又は保護者を通じて学校の予定や送迎時刻を知らせてもらっている。	・学校によっては、共有できていないところもあるが、積極的に学校側と共有ができるように働きかけていく。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	1	・契約時に保護者からお聞きしている。	・福祉サービスからの情報共有はできているが、保育所等から直接情報を得ていないため、福祉サービス以外の、保育所等とも繋がっていきたい。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	0	・記録を保管している。	・移行年齢に達している利用者がいないが、移行の際は相談員や他の事業所に伝達していく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	1	・連絡会などの研修に参加している。	・今年度、県の研修で本格的にスーパービジョンの研修が始まったため、来年度に向けて、取り入れていきたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	4	・グループ内で施設間交流は行って多様な交流の機会はある。 ・散歩や地域の公園で活動を行ったり、地域の祭りに参加したりして地域とふれあう機会がある。	・地域の学童などとの交流する機会はないが、来年度は、学童と併用する児童も増えてくることが見込まれるため、学童と連携が取れるように働きかけていきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	0	・必ず参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	・送迎時やモニタリングを行い、状況や課題の確認など共通理解ができている。 ・送迎時の会話など話しやすい雰囲気づくりから心掛けている。職員間で情報共有もできている。 ・所内での様子を伝えたり家での様子をお聞きしたりしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	0	・今年度の保護者会で就労施設の案内を行うなど進路先の情報を提供できた。 ・年に2回の保護者会の開催をしている。	・保護者の方へアンケートを実施し、よりもためて勉強会を行っていく。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	・規定が変わるごとに説明を心掛けている。	・今年度は制度改定が多くてまだ保護者へ伝えきれないことがあると感じているため、丁寧な説明を心掛ける。
	37	放課後等デイサービス計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	・利用児に関しては日々、何がしたいかなど自発的な活動を尊重している。また保護者の意向はアセスメントや送迎時などで確認している。 ・必ず保護者面談を設けており、ご協力頂いている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8	0	・細かくアセスメントを行い進められている。 ・計画書を提示して説明後に同意を頂いている。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の送迎時や気になることがあれば随時連絡を取り合って情報共有している。</li> <li>・すぐに時間を取るように心掛けている。</li> </ul>	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者会を行っている。また、すまいる祭りという保護者が施設に気軽に入ってゲームをする日も企画した。</li> <li>・家族と一緒に参加できるイベントを開催している。</li> </ul>	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者より困りごとがあった際は迅速に連絡を取って対応している。また職員間も連絡ノートやミーティングを行い情報共有ができています。</li> </ul>	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月、あすまいる新聞を発行して活動を伝えている。またインスタグラムも更新して活動の様子が分かるように行っている。</li> <li>・公式ラインに全員登録していただき連絡体制が取れている。</li> </ul>	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発表会などある度に個人情報の確認を保護者としている。</li> <li>・常に意識している。</li> </ul>	
	44	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ことばでの理解が難しい場合は身振り手振り、絵カード、実物をみせるなどより伝わりやすい支援を目指している。</li> </ul>	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月に1回程度、地域を散歩しながらゴミ拾いを実施している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症予防・個人情報等の課題から地域住民との交流の機会は作れていない。</li> <li>・招待するなどは今後検討していく。</li> </ul>
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設内には各マニュアルがある。職員はそれを常に確認する状態ではある。今年度は情報伝達訓練を行い、全利用児の保護者にも公式LINEを活用して訓練を行った。</li> </ul>	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上記同様にBCPを意識して、火災訓練、地震訓練、洪水訓練の要素で訓練ができ、消防署へ報告も行った。</li> <li>・非常災害時の備品を備えている。</li> </ul>	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・細かく保護者と情報共有をして日々の様子を情報共有している。対応マニュアルも作成してある。</li> <li>・今年度、てんかんについての勉強会を開催した。</li> </ul>	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アレルギーがある方に配慮した対応をしている。</li> <li>・複数人の職員で原材料からダブルチェックを行っている。</li> <li>・アレルギーのある子の名札に印をつけ気を付けていくように周知している。</li> </ul>	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全計画を作成してある。備品の点検などごまめにチェックをしている。</li> <li>・常に意識するように心掛けている。定期的に点検している。</li> </ul>	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡は公式LINEや配布物で常時取り合える環境は整っている。安全確保に関しては様々な情報を提供している。</li> </ul>	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒヤリハット、事故報告、内容の報告はその都度、記録を記入して情報共有し、再発防止に努めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・記録を記入はするが、様々な勤務体制により、全職員にまで対策が伝わるまで、時間を有することがあるため、創意工夫していきたい。</li> </ul>
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・虐待防止委員会をグループで設置して定期的に内部研修を行っている。毎月の虐待チェック、定期的なストレスチェックも行い見つけ直す機会を設けている。</li> </ul>	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画書に記載してあり、保護者にも丁寧に説明している。</li> <li>・やむを得ない身体拘束について記録を残し、見つけ直す機会を設けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体拘束の機会は少ないがやむを得ない状況があれば組織的に進められるようにしたい。</li> </ul>	